

第3回栗東市障がい者基本計画・第4期栗東市障がい福祉計画 策定委員会 会議録要旨

日時・場所	平成26年11月25日(火) 午前9時30分～ 栗東市役所2階第2会議室
出席委員	村井龍治委員、中山みち代委員、杉田健一委員、高畑きぬ江委員、大屋和代委員、 太田珠美委員、黒木稔委員、河尻朋和委員、草野とし子委員、太田真弓委員、 西尾悦子委員
欠席委員	黒田元吾委員、濱野史恵委員、金谷真佐男委員、長谷川すみ子委員
事務局	健康福祉部部長、障がい福祉課課長、障がい福祉課課長補佐
オブザーバー	(株)日本開発研究所三重
事項	1. 開会 2. 議事 ①第2期栗東市障がい者基本計画<素案>の検討 ②第4期栗東市障がい福祉計画<素案>の検討 3. 今後のスケジュール 4. その他

1. 開会

- ・障がい福祉課長から挨拶。
- ・事務局が、委員の半数以上の出席があり定足数を満たしていることから、本日の会議が成立することを報告した。
- ・委員長から挨拶。

2. 議事

①第2期栗東市障がい者基本計画<素案>の検討

- ・事務局が資料の説明を行った。 【資料、一部当日差し替え】

委員 基本理念に共生を入れていただき、理念の内容としては素晴らしいものになったかと思うが、それがどのように具現化するのが課題だろう。自分に関係するものとしてグループホームについてみると、41 ページに、栗東市としてどうしていくかを挙げる必要があるだろう。今の書き方をみると湖南4市で検討していくと書いてあるだけで、栗東市としてどうしていくのかがみえてこない。

グループホームについて、数を増やせばいいというわけではない。今の入居者を卒業させて新たに入居させていくことが重要である。なので、グループホームの先になるものとして、例えばルームシェアなども考えられる。栗東市はそういった方向に持っていけるまちだと思う。そういったことが計画に入っているといいように思う。

委員長 具体的にどのように入れたいか案があれば教えてほしい。

委員 10、11 ページについてはこのままでいいと思う。どのように入れていくかは難しいが、例えば72 ページにルームシェアなどについて入れていただくのはどうだろうか。

委員長 湖南4市での方向しか書いていない件については、できれば栗東市としての独自の方針を示していただきたい。

委員 湖南4市ではこう考えているけど、栗東市はこうしていきます、ということ具体的に示していただきたい。

事務局 41 ページのご指摘の点については、守山市にある「たいよう」の施設整備について書かせてもらっている。高校を卒業したお子さんの行き場がないということで4市で検討をしている。その点については栗東市だけでというのは難しいので、場所も含めて4市で考えていくことになる。

委員 個々の問題については理解できるが、もっとグループホーム全体として栗東市はどうしていくのかを書いてもらえればと思う。

委員 障がい者の居住としてグループホームに限定されているようにみえるが、一人で住みたい人もいるし、施設に入りたくない人もいると思うので、もう少し言葉に柔軟性を持たせるべきではないか。個々のいきたいところへ行ける支援をするという言葉で示せないか。今の書き方だと公営住宅やグループホーム以外には住めず、それ以外では支援がもらえないのではと読めてしまう。また、市営住宅について保護者といっしょでないと入居できないと聞いている。市営住宅での一人ぐらしも認めるなど、なるべく制限を設けないようにしてほしい。

委員長 今の話は施設サービスでは書きにくいので、居住支援の視点で、個々の意思を尊重した居住支援を進めることを書いてもらえればと思う。現在では重症心身障がい者に重点をおいた書き方になっているが、他も含めて記述するよう変更をお願いしたい。

事務局 41 ページについて、ご意見を踏まえまして、現状の1段落目のあとに本市におけるグループホームの現状を記載し、そのあとにグループホームの今後の方針をお示しすることとしてはどうかと思う。その後ろに湖南4市としての方針をいれてはどうか。

委員長 そのような順番で記載いただきたい。

委員 41 ページについて精神障がい者だけでなく、知的障がい者についても児童福祉施設にいる子が18歳になったときに入所する場所を求めているので、その意向についても入れてもらえればと思う。

委員 項目が多くありすぎてよくわからなくなってしまうので、新しく取り組む項目にマークを付ければわかりやすくなるように思う。

事務局 防災対策については新たな動きが出ているが、それ以外については、今まであった施策を基本としており、PRを進めていくことになっていく。

委員長 全般的に具体性がない。もう少し具体性のあるものが書けないだろうか。特に学校教育課と社協に関するものがもう少し具体的に書けるのではないかと気になった。25 ページの社協に係る箇所について、社協一般的にやっていることを書いてあるだけのように思う。もう少し障がい者福祉の視点で記述すべきではないか。また、49 ページの民生委員児童委員の記載や、50 ページの人権いろいろ相談の記載などについても、もう少し障がい者の取り組みについて具体性をもって書けるといいなと思う。

委員 39 ページの「障がい者地域活動支援センターの充実」の項目について、

湖南地域障がい者生活支援センターには今は委託していないので、削除して下さい。

61 ページの現状と課題で、「目的を理解していない人も多く」とあるが、周知されていないのはその通りだが、そこにニーズがあるのも事実である。表現を変えられないか。今あるニーズにどのように対応していくのか、どう政策にしていくのが大切だろう。

委員 66 ページの現状と課題について、「福祉的就労として近隣市を含む就労継続支援事業所を紹介するとともに」とあるが、近隣市の事業所を紹介する取り組みよりも、栗東市で足りていないことをどうしていくかの方が重要ではないか。自前ではできないので近隣市でどうぞと読めてしまう。

あと、今後の取り組みについて「就労支援事業所の安定した～」と「移行」を取った方がいいのではないか。

委員長 「近隣市を含む」を削除してはどうか。現状としては近隣市へ頼まなければならない、市で整備していかなければいけないことが課題だろう。その上で、当面は近隣市と連携しながら進めていくということだろう。

委員 66 ページの就労支援について具体性がないのが気になる。重点目標の1つになっているにもかかわらず、新しいことがないのは、果たして重点といえるのかに疑問が残る。

66 ページの今後の取り組みについて、「運営支援」と書いてあるが、現状で運営について何も支援してもらっていない。これをここに書くとなるとすべてのサービスに入れないとバランスが取れないのではないか。

委員 61 ページのタクシー代・ガソリン代について、今は透析の方だけだと思う。今後は重度障がいのある人にも出してもらえると考えていいのか。タクシー代が出なくなって皆さん困っている。

全般的に今までやっていることが載っているだけという印象がある。手引きがそのまま移されている。新しい取り組みを打ち出し、施策を見直していってもらえないものだろうか。表現の一言一句が気になる。61 ページの「重度障がいのある人・透析を必要とする～」の箇所に「・」を使っているのも、理解をしてもらっているのか気になる。

委員長 タクシー代については重度障がいのある人まで拡大していくということでもいいのか。

事務局 要望は多くあるが、現状では拡大していない。今後も、6年間で確約はできないで、それならば削除しなければいけない。

委員長 今後の取り組みなので、どうしても具体的には書けないところも出てくるだろう。ここでの書き方は具体的に書いてあるので、読む人はこうなると捉えるだろう。6年の間に希望があるものについては「検討します」としておいた方が、課題に取り組もうとする姿勢が見えるのではないかな。なお、言葉だけの問題ではなく、実際に検討してもらうことが前提である。

事務局 現状と課題に、タクシー代についての課題を入れることとする。

委員長 重点目標がどういかにされているかがみえてこない。もう少し重点目標が

- どのように取り組まれるのか見えるようにしてもらいたい。少なくとも、なぜ重点目標に挙げたのか、課題認識やどういかにされているかが弱い。
- 委員 16 ページの 1 - (1) に「基幹系相談支援体制の整備に向けての協議」とあるが、基幹系の良い悪いは別にしても、なかなか4市で足並みは揃っていない。障がい福祉計画でも、3年間の整備を広域で検討となっており、うやむやな書き方になっている。目標が明確でないのが気になる。国が言っているのでやらないといけないということではダメだろう。広域で議論されて本当に必要ということで載っているのならいいのだが。
- 事務局 基幹系については、草津市は単独でやっており、栗東市、守山市、野洲市で検討していたが、野洲市が抜けることになり、今後は栗東市と守山市で検討していくことになる。適切な場所も含め一から検討していかなければいけない。基幹系の整備は栗東市単独では難しい。
- 委員長 湖南圏域としてどうしていくかを検討していくということでもいいか。
- 委員 草津市と野洲市は委託をしていく、基幹系については4市で検討していくということだろうか。
- 委員 基本理念のなかに、社会全体で取り組んでいく、ということが入っているが、計画において市の決意がみられない。できるかできないかではなく、栗東市としてこうしようという思いが重要である。福祉だけでできないことも、財政的に厳しいことも理解しているが、この先に何かあるかを示してほしいと思っている。その視点が足りないように感じる。すべての項目について満遍なくじゃなくてもいい。重点目標だけでもいい。現状では希望がみえない。行政もがんばります、みんなもがんばってもらいますといった姿勢がほしい。3年後、4年後が今といっしょでは寂しい。
- 委員 15 ページの 6 - (3) の線が繋がっていないので修正いただきたい。
- 委員 就労支援の課題として、この地域は障がい者を受け入れている企業の数は多いが、今後は定着支援が課題であるということをごどこかに入れていただきたい。今後、定着支援にどう取り組んでいくかの協議をできるといい。
- 委員長 進んでいるからこそ次の対応をしていかなければいけないのだろう。
- 委員 58 ページの「障がいのある人が参加しやすい環境の整備」について、障がい者に限定せず、一般の人もいっしょになって参加すべきだと考えるので、「地域住民全員が参加しやすい」の方がいいのではないかと。できれば地域参加型の大会に持っていきたい。
- 委員 同じページの「スポーツ・レクリエーション事業の推進」について、「栗東市体育協会等が」以降について、そこまで記載すべきだろうか。当たり前のことのような気がする。
- 委員長 前段について考え方としてはその通りだと思うが、個人的には「障がいのある人が参加しやすい」と書いておいた方がいいように思う。
- 委員 いろんな人が入ってきてもらうことは良いことだけど、それにより障がい者がはじき出されるようではいけない。かえって障がい者の参加機会

を少なくしてしまうのではないかと。広げるにも広げ方がある。一番に考えなければいけないのは障がいのある人が集いあう場づくりであり、障がい者のためのものであってほしい。

委員 そもそも最初は地域住民が広く参加するイベントであったが、障がい者の参加が増えていくなかで今のような形に変えてきた経緯がある。

委員 11 ページでは「ライフサイクル」の表現を使い、16 ページでは「ライフステージ」の表現を使っているが、意図があるのか。

66 ページの河尻委員ご指摘の箇所について、「就労支援の取り組みの支援」ではなく「事務所の安定運営を支援」ということだろう。そのことがわかるような表現にしてはどうか。

委員長 「ライフサイクル」と「ライフステージ」については指しているものが若干違うものであり、ここではこの表現のままで良いのではないかと。

66 ページについては、福祉就労の場自体が安定しないと障がい者の支援もできないということなのではないかと。

②第4期栗東市障がい福祉計画〈素案〉の検討

・事務局が資料の説明を行った。 【資料、一部当日配付】

委員 28 ページの文章と表について、文章では実績値が上回っていると書いてあるが、表では逆になっている。

委員長 平成 26 年度の数値は 9/30 現在を取っているということだが、36 ページの生活介護について、平成 25 年度で 1,048 人であるのに対し、見込み値が平成 27 年度で 1,041 人と下回っているのはよかったのか。

38 ページの短期入所について、平成 26 年度の 9/30 現在ですでに 117 人なのに対し、平成 27 年度の見込み値が 119 人なのはよかったか。

25 ページの施設入所支援の平成 26 年度の実績値 200 人は、今後増える見込みがあるのか。

日中一時支援の平成 26 年度が 9/30 現在で 131 人なのに対し、平成 27 年度の見込み値が 150 人なのはよかったか。

事務局 平成 26 年度の数値については、実績値の倍になることを見込んで試算している。一部実績値を下回るものについては、平均値程度になると見込んだことによる。

委員 35 ページの居宅介護等について、3 年間の増加はないと見込んでいるのか。

事務局 22 ページにもあるように、居宅介護等の利用人数はここ 3 年間減少している。しかし、見込み値については維持するものと多めに見込んでいる。

委員 41 ページの障害者虐待防止センターは 1 か所ということによかったのか。虐待防止センターとしては障がい福祉課内にあるということによかった。

- 37 ページの就労継続B型については、1月に厚生労働省から数字が出てくることになっていると思う。そのB型アセスの分は見込んでいるのか。見込むかどうかで数字は大きく変わる。
- 事務局 就労継続B型等については、当面は実績で見込んでいる。ここについては、国からの数字が出てきた後に、次回の策定委員会で再度検討いただくことになろうかと思う。
- 委員 障がい者基本計画の67ページの優先購入について、すでに具体的に取り組んでいると思う。団体も立ち上げていたと思うので、書けるものは具体的に記載してはどうか。
- 委員 教育から福祉、労働への移行が課題だと感じている。特別支援学校などからは形になってきているが、普通の学校からの移行が課題だろう。そういうことを認識しているといったことがどこかに示せないか。
- 委員長 就労と就学のそれぞれに課題としていれてはどうか。

3. 今後のスケジュール

- ・今後のスケジュールの確認
- ・12月22日からパブリックコメントを予定
- ・次回の策定委員会は平成27年2月6日9時30分から

4. その他

- ・本日いただいた意見に基づく修正については、発言いただいた方にも相談しながら修正させていただく。